

逗子市議会議員

さざさか ゆうじ 活動レポート Vol. 38

～無所属で活動中～



■さざさか ゆうじ(句坂祐二) プロフィール■

1970年2月14日生まれ A型 50歳 逗子市沼間1-8-2

略歴：沼間小卒業・逗子中卒業・私立横浜商工高等学校卒業（有）句坂畳店入社
逗子葉山青年会議所理事長・逗子市商工会青年部長・逗子葉山建設組合青年部長
沼間小PTA会長・逗子中PTA会長・市PTA連絡協議会会長・県PTA執行役員
家族構成：妻と長女(大学生) 次女(高校生) 長男(中学生)

議会職歴：総務常任委員長、教育民生常任委員長、議会運営委員長

基地対策特別委員長 現在 三期目 副議長 所属会派 市政クラブ

令和2年第2回定例会報告

第2回定例会が6月9日～24日に行われました。今定例会では、令和2年度の一般会計補正予算及び介護保険事業特別会計補正予算が提出され可決されました。補正予算の主たる事業としては、新型コロナウイルス感染症対策関係が多く、その他に企業誘致等推進事業、移住促進事業、学校支援地域本部事業、保育所等緊急整備事業、緑地安全対策事業、運動・スポーツ習慣化促進事業、GIGAスクール構想の実現に向けた教育用コンピュータの賃貸借に要する経費として、小中学校の教育用コンピュータ維持管理事業用コンピュータ維持管理事業。その他の主な議案は、新型コロナウイルス感染症流行下における逗子海岸のマナーの向上に関する条例の制定について（可決）、工事請負契約の締結について（逗子市防災行政無線デジタル化整備工事）（可決）、逗子市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について（可決）、逗子市介護保険条例の一部改正について（可決）、その他に陳情、意見書が審議されました。

【総合的病院誘致 実現は困難として断念】

7月17日に全員協議会が開催され、総合的病院誘致事業について、市長から報告がありました。総合的病院の誘致については、平成28年12月に公募により選考されました医療法人葵会とともに、令和4年度中の開設を目標に取り組んできました。しかしながら、必要とする病床確保が難しく、中でも急性期病床の確保が極めて困難のことから、公募条件に沿った総合的病院の開設の見通しが立たない状況にあります。今般、市と葵会が協議したところ、葵会としても公募条件である200床以上の病床数が見込めない状況では、これ以上の手続きを進めることは難しく、今後継続しても病院開設の実現は困難であると両者の意向が一致したため、医療法人社団葵会との病院誘致を断念しました。今後は、9月に市民説明会を開催予定。市民の意見を聴取し、地元の医師会をはじめとする各関係機関との協議を進めていきます。総合的病院の誘致を継続していく意向が示されましたが、高齢化進む本市では、地域医療の充実を図っていくことが重要な課題だと考えます。

逗子海水浴場開設を断念～市が条例制定～

逗子市では、例年、海水浴場を開設し、多くの方々に海の魅力を楽しんでいただき、地域経済が発展するように努めてきました。しかし、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、海水浴場における感染拡大のリスクが懸念される情勢となり、逗子市、鎌倉市、葉山町ともに、海水浴場の開設を断念しました。海水浴場を開設しなくても、市内外から逗子海岸に多くの方が訪れることは予想されます。今定例会において、逗子海岸及び周辺地域における生活環境を保持することを目的とした「**新型コロナウイルス感染症流行下における逗子海岸のマナーの向上に関する条例**」を制定しました。7月1日から8月31日までの間は、飲酒、バーベキュー、音楽スピーカーなどの使用はできません。市は、海岸来場者の安全、マナー向上のために、簡易監視所を設置、警備員の巡回、海上監視のライフガードを配置します。



土砂災害～危険崖地対策を～

近年、全国各地で豪雨による河川の氾濫や土砂災害など甚大な被害が出ています。先日も九州、岐阜県、長野県でも大きな被害がありました。本市では、大きな河川はありませんが、山に囲まれた地域であり、土砂災害の危険性が懸念されています。今年2月、池子で発生した土砂崩れに伴い、逗子市道の主要な道路に接する土砂災害警戒区域及び市内小・中学校用地に接する斜面地を市が調査した結果、要対策箇所は、市道17箇所、市立小・中学校は、2箇所でした。多くの箇所が民有地であり、土地所有者に対し適正な維持管理をお願いしていますが、防災工事には多額費用がかかることから早期の対応は難しい状況です。

ICT教育の推進～GIGAスクール構想～

学校教育で現在、ICT機器を活用した学習環境の充実のために、「GIGAスクール構想」の実現を目指しています。新型コロナウイルス感染症による、学校の臨時休業など緊急時の子どもたちの学びを保障するために、国のGIGAスクール構想に係る情報端末整備費補助が前倒しになり、今年度中に児童・生徒一人ひとりに最適な教育機会を提供するため、市内の小・中学校全学年分のタブレット端末を導入します。



皆様の声を聞かせて下さい。
市政に対するご意見、ご要望をお待ちしています。

御名前

御住所

連絡先

送り先FAX 046-871-3552 TEL 046-871-3526 e-mail: sagisaka@plum.ocn.ne.jp

発行責任者: 匂坂祐二(さぎさかゆうじ) ポスティング ボランティアを募集しています。御協力お願い致します。